

六月六日夕刊



定価 一部全... 発行所 常磐毎日新聞社

時局感想

紀 平 正 美

(二)

自己によつて歪まされたものはそれだけ正義にあらず、真理にあらず、やがてみづから清算せざるべからざるものである。即ちここに歴史の動きがある。然るに我が國の立場は中道を以て本とするが故に、時には多少歪まされはあつたであらうが、それは直ちに清算せられて正道に復歸するのである。そこに我には革命なくして、絶えず維新あるのみといふ歴史の特異性を生ずる。

この働きの現はれとして我々は古くから總てを對立的に考へる我が國民の特有性について考へなければならぬ。すでに舊く我々の民は幽事と顯事との對立として出雲の大神と伊勢の神宮とを對立に置き、伊勢の神宮をも亦豊受大神宮と天照大神宮との對立に置き更にその兩大神宮のおの／＼を荒御魂と和御魂との對立に分けてある。この精神は聖德太子が法隆寺を建立せられたる時に、その門を三門とせられずして、出入の二門とせられたることに現はれてゐるが、その他曹洞

宗がその大を致すや、それを見れば鬭争の状態を現出するものとして恐れるであらうけれども、自我を非我より嚴密に分つところの力は、これを純粹なる論理的立場から云へば、非我をも我の中に攝入すべき働きでなければならぬ。即ちこれを我が國の言葉で云へば直

ノート

濡れた洋服は遠火にかざし乾いたらアイロンをかける、自然乾きや強い火はいけぬ

にもまた奥ノ宮としての荒御魂と本殿としての和御魂とに分れてゐる。すべてをかくの如く對立の形に分けて居るが、單に神社に於けるのみならず佛閣に於ても大きなものには必ず奥ノ院なるものが設けられてゐる

明日の献立

- 【朝】甘露煮—空豆
【晝】ふくめ煮—焼竹輪 焼豆腐
【晚】わん—めうが 玉子とじ

さうしてこの奥ノ院なるもの、本性は何であるかといふと、それは結局批判の原理としての峻烈なる力である、即ち荒御魂である。

この原理が常に動くが故に、すべては對立の關係に置かれるのであるがその對

立をもし個人主義の立場から見れば鬭争の状態を現出するものとして恐れるであらうけれども、自我を非我より嚴密に分つところの力は、これを純粹なる論理的立場から云へば、非我をも我の中に攝入すべき働きでなければならぬ。即ちこれを我が國の言葉で云へば直

★夏★
★服★

正札堂洋服店
平町四丁目停車場通
シルクポリーライ 拾六圓五拾錢
ポリーライセビロ(上下) 八圓三十錢
黒セル上衣 三圓ヨリ
グラニット 一圓五十錢
白ズボン 五十錢ヨリ
白キヤラコ 五十錢ヨリ
白セルズボン 三圓五十錢ヨリ

耳鼻喉專門
應入院
山内醫院
平町田町七〇番地
醫學士 山内亨吉
電話六九一

謹啓
陳者今般不肖磐城共濟病院を經營致す事に相成候就而倍舊の御交誼御援助を賜り度此段御挨拶旁々如之御座候
醫學博士 石山謙郎

旭硝子株式會社製品
赤菱印 板ガラス
硝子 子 壺
硝子 食器
其他各種
松崎硝子製作所
平町新川町(電話一四二番)
仙臺市榮町(電話五九七番)

藤沼醫院
入院需應
平町紺屋町 電話五〇七番

中村齒科醫院
平町鍛冶町七

耳鼻咽喉科專門
氣管食道科
大和田醫院
平南町(電話一七〇番)

平署跡敷地

五ヶ年拂の條件

既報平町紺屋町の舊平警察署跡敷地二百八十二坪は過般來町當局が廣小路と爲すべくその拂下方を縣當局に申請中の處敷地代の支拂方法が折合はず容易に決定を見なかつたが縣でも町當局再三の申請を諒として今回地代六千七百五十圓(坪數二百八十二坪)を向ふ五ヶ年拂の條件で拂下ぐる旨の通牒が本日平町役場に入つた

非常時決議

青年向上協議會

石城郡下青年實績向上協議會は昨日午前九時より平窪村小學校に於て開かれ出席者百三十餘名にて先づ本縣影山補習教育主事の開會の辭に次ぎ末原學務部長の國際聯盟退に關する詔書捧讀あり當番校長井上準氏及び參會者錦 菊多 泉 江名 飯野 神谷 草野各小學校長の「我が學校に於て目下努力しつゝある事項に就いて」の發表あつて午後一時より部會長會我直治氏が議長席につき本縣各學校に於て實施すべき具体的事項として

- 事 團體的訓練に努むる
- 事 自給經濟の普及徹底を期する事

郷土室の施設を

石城部會が諮問

本日の教務主任會議

既報石城郡下各小學校教務主任會は本日午前十時より平第三小學校に於て水野縣視學臨席の下に開かれたが出席者は西山、會我、津田赤津の各役員を始め五十五名にて石城部會及び各校より提出されたる左記事項に就いて協議した

- 一、郷土室施設並之が活用
- 一、現下非常に對し小學校
- 二、國定教科以外の教科取扱方法(第四區)
- 三、珠算練習カードを作成し之を使用したし(第三區)

- 一、『非常時に處する縣民の覺悟』の實施を期す
- 二、昭和七年度石城郡實業補習學校實施事項の徹底を期す
- 三、現時の非常時に際し特に必行すべき事項
- イ 産業實務青年を以て一人研究の勵行に努むる

一人研究の勵行に努むる

一人研究の勵行に努むる

一人研究の勵行に努むる

一人研究の勵行に努むる

一人研究の勵行に努むる

一人研究の勵行に努むる

一人研究の勵行に努むる

- ニ、記帳生活を一層獎勵する事
- ホ 職業を透しての人格陶冶に努むる事
- 等々協議し終つて平窪村各種組合の状況に就いて草野常彌氏の發表あり后左の如き決議をなし四時盛會裡に散會を告げた

- 三、硬筆練習帳使用の實際
- 二、操作査定の規程を承り
- 一、教授の實績を擧げたる具体的方法承りたし(第一區)

- 六、教務主任會今年度の事業を承りたし(植田校)
- 七、各校修學旅行實施狀況承りたし(錦校)

- 四、兒童校外生活の實際を承りたし(錦校)
- 五、兒童自治會の實際を承りたし(山田校)

- 六、教務主任會今年度の事業を承りたし(植田校)
- 七、各校修學旅行實施狀況承りたし(錦校)

交通量を見て

道路に等級を附ける

昨日から調査を開始

平土木監督所では去る一日より管内主要道路の交通量調査を行つて居るが同所では昨日より更に道路に等級を付ける爲め縣土木課の本間技手が應援し四日間の豫定で調査を開始した

農桑公開教授 平町各小學校にては来る十四日午前九時より町外の各小學校が農桑休暇中なので之等職員の便宜を圖り公開教授を行ふと

苗代と二毛作を

平町農會主催で品評會

平町農會では来る八日苗代及び二毛作の品評會を開くが審査長は郡農會青山技師である

午前五時より午後六時迄四倉町仲町四倉銀行前で同町の交通量調査を行つた結果左の如くである

四倉の交通量

平土木監督所では去る一日

步行者	三五九八八
牛馬	三臺
自轉車	一三〇〇臺
荷車	一六八臺
自動車	二六六臺

勝ちは何れに?

豫想許されぬ三郡野球

磐中平商必勝を期す

磐中及び平商野球部にては来る二十四日午前九時より双葉中學校グラウンドに於て演三郡中等學校

野球大會が開催されるので目下必勝を期し猛練習中であるが昨年の戦績を

磐陽野球

大會の協儀

磐陽野球後援會にては近日磐陽野球大會を開催する爲め本日午後七時よりマルトモホールに於て各チームのキャプテン會議を開くと

コーチ来る

平商野球部

平商野球部にては元法政大學名外野手鳥秀之助を招きコーチを受ける筈の處都合上に依り法政大學現三壘手矢野幸男氏が昨夜午後七時着にて本校よりコーチを開始する事になつたが磐中野球部にも目下早大にコーチを交渉中との由

お姉さん勝つ

磐女對第一の籠球試合結果

磐女對平第一のバスケットボール試合は昨日午後二時半より磐女グラウンドに於て行れたが戦績は左の如く十三對二十二のスコアにて磐女軍勝を占めた

市原醫院

平町 田町 電話 一四四番

B組 4—8 B組
A組 1—10 A組

大浦共同野米

石城販賣利用組合大浦農業者倉庫の共同販賣は昨日行はれ五等七十八俵等外二百五十一俵を入札せる結果四等建値八圓三十銭にて平町の丹野周一郎氏に落札したが前回に比して十九銭の高値を見た

平町物價

白米	一等一キロ	一七〇
	二等	一六五
	三等	一六〇
白麥	同	八五
平麥	同	一二五
味噌	一貫匁	五〇〇
醤油	一升	四〇〇
清酒	同	一〇〇〇
木炭	一貫匁	一九〇
	同	一七〇
	同	一六〇
砂糖	同	一五〇
	同	一三〇
豚肉	同	二〇〇
	同	二〇〇
牛肉	同	二四〇
	同	二五〇

平町人事

回 死 亡
△立町九九 鈴木ヒデ(五六)

議員の席次と

その所屬別

平町會の分野決る

昨日の初町會では各議員が一先づ當選順位に依つて夫々議席に納り、青沼町長の挨拶、年長代表小野伊佐治氏の答辭あつて、青沼町長が抽籤器をガラ／＼廻し議員の席次番を左記の如く決定した

- 二九 吉田 五平
 - 三〇 縁川喜三郎
- 尙ほ町會の分野は研究会、同成會、公政會の三派に分れ夫々の處屬は左記の如く決定して居る
- (研究会) 小野伊佐治 松崎長太郎 會川延太郎

- 花澤久一郎 佐々木龍若
- 川崎文治 關内正一 井上茂作 石山治三郎 高橋龜松 根本品藏 多田井笑次郎 馬目武之助 鈴木光吉
- (同成會) 萩原義雄 新井滋造 馬目雅治 吉田寅之輔 荒川淺次郎 佐藤幸太郎 野崎滿藏 小松茂 吉村安治郎 吉田五平 縁川喜三郎
- (公政會) 堀喜一 猪狩觀德 吉田金作 坂本隆藏 酒井清

選挙の影響

平局の窓口賑ふ

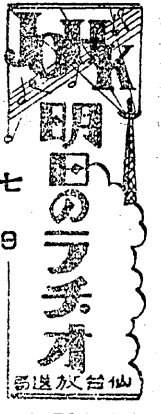
切手賣捌が平月の三割増

平郵便局に於ける去月中的爲替貯金の成績を見ると(爲替受)一、六〇三〇三、八、六九五圓八十三錢(拂出)一、九三四〇七、一、六二二圓八十三錢(貯金受)六、〇五一〇、一、三、四七三圓五錢(拂出)二、一八二〇、一三四、七三五

保険金詐取公判

来る八日に開かれる

既報平町堤の内無職大和五平次(七)が家計困難の爲め保険金二千二百圓を大阪日本簡易火災保險會社より詐取せんとして去る四月十日隣家に放火した事件は来る八日午前九時より平支部に於て中島判事係り關口 竹



今晚も明日も北東の風晴後天氣悪くなる

今晚の部

- 後、六〇〇 子供の時間 兒童歌劇協會 北村
- 後、六五五 カレントトピックス ハロルドパーマー
- 後、七、三〇 國際經濟會議 特別講座(四) 日本銀行文書局長 資本移動の恢復 田中鐵三郎
- 後、八、〇〇 地唄「名所土産」 菊原察治其他
- 後、八、二〇 講談「神並の返り忠」 旭堂南陵

打ち鳴らす

時の日警告

際しては市民の注意を喚起する爲め正午及び午後七時の二回に亘つて城山の警鐘を始め市内工場のサレン社寺の太鼓鐘等を一齊に打ち鳴らす事になつた

決闘殺人判決に

不服であるとして控訴

既報双葉郡大字上淺見川字小松三十三番地農根本末吉(三)に對する決闘殺人及び傷害致死事件は去月三十一日平支部に於て中島裁判長より檢事の求刑十年に對し懲役六ヶ年を言渡されたが本日不服ありとして永野辯護士を代理人として控訴の申立をなした

泥酔乗車

ガマ口紛失

石城郡川前村字桶賣材木商栗原敏治(七)は五日午後四時頃泥酔して平驛より乗車せんとした際取立金四十二

明日の部

- 後、八、五〇 映畫劇「夜盗と青春」 松竹キネマ京都撮影所連
- 前、一〇、三〇 家庭講座「仙人掌の栽培と多肉植物の繁殖」 大塚春雄
- 後、〇、〇五 滿洲より
- 後、二、〇〇 婦人講座「うたの正しさうたひ方」 長坂好子
- 後、六、〇〇 子供の時間 お話「ダイナマイト」 原田
- 後、七、三〇 國際經濟會議 特別講座「世界經濟會議と貿易の前途」 高柳松一郎
- 後、八、〇〇 謠曲「番噺子橋辨慶」 金剛殿
- 後、八、五〇 吹奏樂「日比谷海軍交響演奏會」 日比谷新音樂堂より中繼 海軍々樂隊、アメリカ亞細亞艦隊旗艦ヒューストン號 乗組軍樂隊

見事な

鐵筋橋

花木橋竣工

平土木監督所八年度災害復舊工事して去月初旬より着手した磐崎村字柿平地内藤原川護岸工事及び鹿島村字上矢田地内花木橋は去る四日鐵筋コンクリート式の見事なのが出来上つたので同日本間技手が竣功検査を行つた

苗代に龜裂

山間村の水不足 植付不能に陥る

石城郡澤渡三坂方部山間部落村では田植時前にして雨量がない爲め例年以上の水不足を告げ場所に依つては苗代に龜裂を生じ此の儘では植付不能に陥るのでは

磐中野外演習

が對策を郡農會に求めて來た

- △書生給仕 十五才 尋卒
- △給料面談(好間村某)
- △事務員 三十五才 師範三年修 給料面談(平町某)
- △女事務員 二十五才 高卒 給料面談(平町某)
- △外交員 四十三才 高卒 給料面談(平町某)
- △商店雜役 二十三才 高一修 給料面談(小名濱町某)

幕末の剣士

【禁轉載上演及映畫】

第三百五十七席

物

外と近藤勇

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

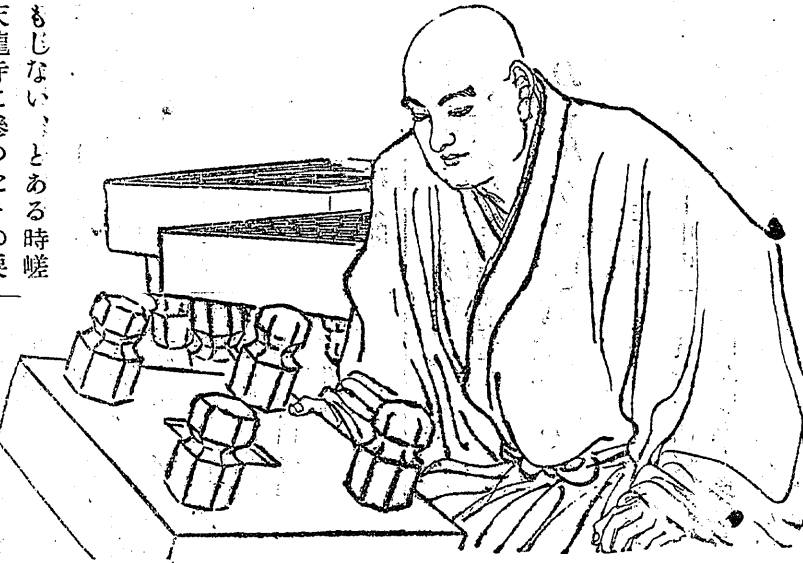
利平ふるへ上る
村の若い者は物外の言ふことを聞いて顔を見合せ

○「へー其のばけ物は人間でございませうか」
物「人間の化物だ、馬鹿に化物は同じ様な物だ、殺すは罪な事と思ふてそつと投げつけたが驚き居つたであらう」

と笑つた、若い者は物外の怪力にびつくりして其後はいたづらをするものもない、是より三年あまり経つての事であるが、物外は京都へ行き三條の戻り橋三軒屋と云ふ旅宿に滞在して折々紫野の大徳寺に行き佛法の事についていろ／＼論議をいたし、其暇には名所を見て歩く、此時代は徳川末期で會津侯が禁裡守護として京都に居られ、其部下に偶する新撰組が市中廻りと云ふ名義で隊長は近藤勇ついで土方歳三、藤堂平助、長田總司、山崎丞、原田佐之助、大石欽次郎、平間五郎、新倉新八これらが新撰組の牛耳を執つてゐる中にも近藤勇は隊長です、此の當時は京都には血なまぐさい風が吹きさすむ、それは新撰組が幕府が政上

利平ふるへ上る
村の若い者は物外の言ふことを聞いて顔を見合せ

物「すきだ、見られる通りわしは坊主だから俗人と異り樂みが少ない、それで碁を弄ぶを無上の愉快といたしてゐる」
主「左様でございませうか」
と云つたが、此の坊主は大層丈が高い六尺もあるだらう、それに腕なども松の古木の様だ、さだめし力もあるだらう、しかし俺も大



感じもしない、とある時嵯峨の天龍寺に參つたその戻寺町迄くるとフト目についた碁盤を賣つて居る店、それへゾイと入つて来て物「碁盤を見せてくれ」
主「畏まりました、貴下は碁をおすきでございませうか」

し碁盤を片手にてふちを押へてゾイツとそれへ出して主「これがようございませう」
と云つたは俺の力を見たか定めし驚いたであらうと云ふところを示した、物外は此の碁盤を見てゐたが

物「これは銀杏だな」と云ひつゝ縁をば指と食指をかけてグルリと裏がへしにして、見てゐた主人の利平はびつくりして利「お氣に入りましたか」
物「イヤ銀杏より樞の方がよからう」
利「左様でございませうか、それではこれは如何でございませう」
と二本指をかけて赤い顔をしながらかつとこれへ運び出した、物外は又そこへ二本指をかけてバタリバタリと引ツクリ返して裏表を見て居たが

とてこれ程の力はあるまい人間わざではないとあきれ利「御出家様、大層なお力でございませうな」
物「何んだ、大層なお力だ」と
利「へーゴ盤がへこみませう」
物「これはわしが力がある譯ではない、ゴ盤の方がやはらかい出来立てだと見える」
利「餅ではございませぬ」
と云つて主人も笑ひました、物外はゴ盤を届けてくれと頼んでおいてこれから四條通りへ来ました、何の爲に物外がこれまで来たかここにこつけないお話がございませう

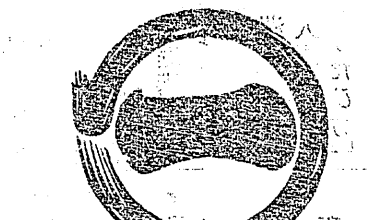
耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町南町
電一〇七

鯉魚節

うに焼にか



魚問屋

店理代平命生本日大最優最
榮盛賀志
(三一電)目丁四平

吸入用酸素純度99%

度量衡

モノサシ
マス
ハカリ

器量計

体温器
寒暖計

●秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關内藥局

電話四〇番

●寫真材料一式販賣致シマス

御贈答に
記念品に
諸景品に

漆器を!!!

共は
實誠勉強
親切第一
在庫豊富

是非御用命を
ドコヨリモ、ヨイシナラ、ドコヨリモ、ヤスクウ
ル、アリモノミセ
平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)
各國産漆器
専門卸小賣
漆器店

店員募集
十三才位 小 店員
三十才迄位 外 交員